

7月の安全指導

「夜間の外出や山・川・海の危険性について」

昼の時間も長くなり、外に出る機会が増えてきたのではないのでしょうか。塾や習い事などで帰りが遅くなっている人も多いと思います。また、夏休みに入れば海や山・川などに出かけることもあるかと思いますが、今月はそういった外出先で起こりうる危険性について説明します。

【夜間外出に関して】

- ・夜の外出は知らない人に話かけられたり、つきまとわれたりするなど不審者に遭遇する危険性が高まります。
- ・どうしても夜間に外出しなければいけない際は、門限を決めて、誰と、何をしているのかを必ず家庭の人に伝えるようにしてください。また、街灯の少ない道、人通りの少ない道は通らないようにしましょう。
- ・事件、事故にあったらその場で解決せずに、必ず保護者、警察、学校に連絡しましょう。
- ・防犯上有効な5つの行動指針（いかのおすし）について右の表で確認しましょう。

防犯上有効な5つの行動指針

いか	…	ついていかない
の	…	車にのらない
お	…	大声をだす
す	…	すぐに逃げる
し	…	しらせる

【海・山・川などに出かける時の注意点】

- ・水難事故や不慮の事故に遭遇する危険性を考えて行動してください。あまり高い山ではないから、深い海ではないから、よく知った川だから、といった油断や過信が事故に繋がります。また、気象状況によって川の増水が起こることもあります。装備や道具などをしっかりと整えることや、天気予報を確認してから出かけるようにしましょう。
- ・子供だけで海・山・川などに出かけるのではなく、必ず大人の目がある状態で遊ぶようにしましょう。
- ・もし、海・山・川などで事件、事故に遭遇しても決して一人で解決しようとせず、周りの大人と協力するようにしてください。



令和7年夏期（7月～8月）の水難事故件数

※警視庁サイトからの引用

	全国の発生状況	中学生以下の発生状況
発生件数	446件	61件
水難者人数	535人	103人
死者・行方不明者	241人	15人

- ・水難発生件数を都道府県別で見ると、最も多いのは沖縄県（33件）、兵庫県（27件）、**東京都・神奈川県（26件）**です。発生した場所別にみると海や川での事故が多く、水遊びや釣り、遊泳中に多くの事故が起きているため、気象海象情報の確認、海岸や河川の状況をしっかり確認するなど、「そなえ」を徹底して安全に海辺・水辺を楽しみましょう。